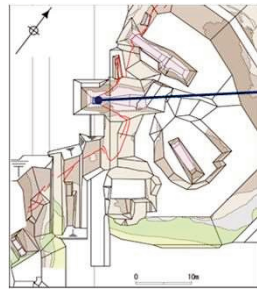
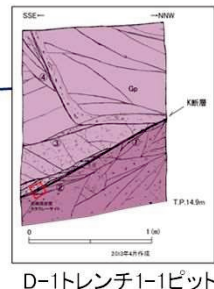


# K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット底盤(変位センス, 薄片観察による断層岩区分(1/3))

- ・D-1トレンチ1-1ピットから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、逆断層成分が卓越する。
- ・最新活動ゾーンには、断層ガウジとカタクレーサイトの特徴が認められるが、カタクレーサイトの特徴は、カタクレーサイトが断層ガウジに取り込まれたものと考えられることから断層ガウジと判断した。
- (断層ガウジ)せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
- (断層ガウジ)基質は粘土鉱物を主体とする。
- (断層ガウジ)粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- (断層ガウジ)丸みを帯びている岩片が多い。
- 岩片は少ない。
- (カタクレーサイト)岩片の粒界を横断する破断面が認められる。

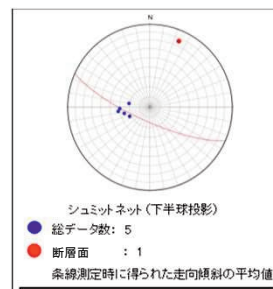


試料採取位置図



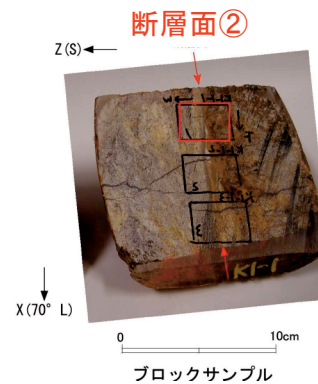
D-1トレンチ1-1ピット

最新活動ゾーン



- ・平均走向・傾斜: N66° W76° S
- ・平均レイク角: 70° 北傾斜

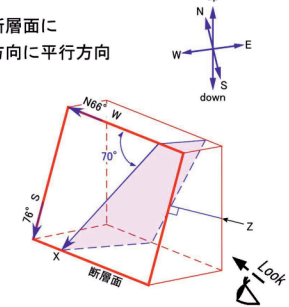
断層面の糸線観察結果



ブロックサンプル

※断層面②は最新活動面

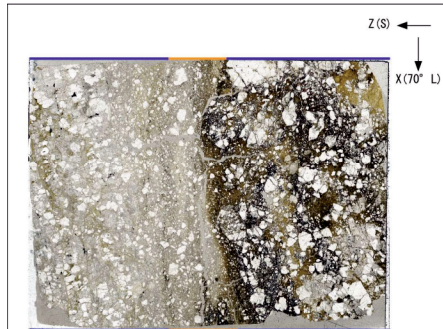
薄片の作製方向は断層面に  
直交方向かつ条線方向に平行方向



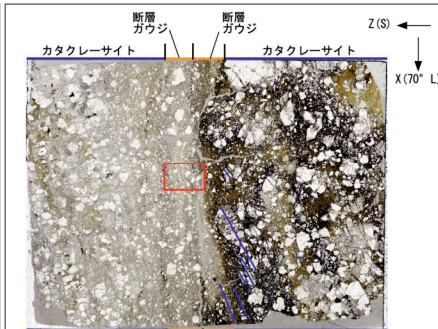
走向・傾斜 N66° W76° S

X: 条線方向 (下向きを正とする)

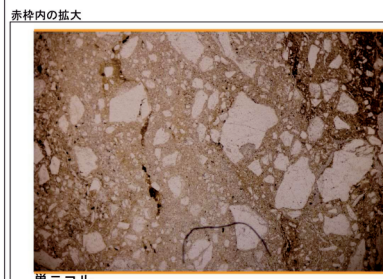
Z: 断層面の法線方向 (上盤側を正とする)



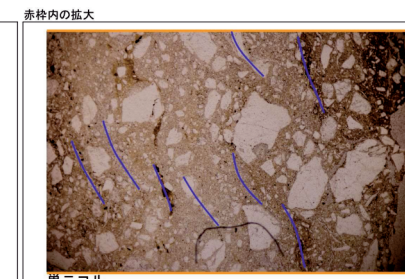
単ニコル



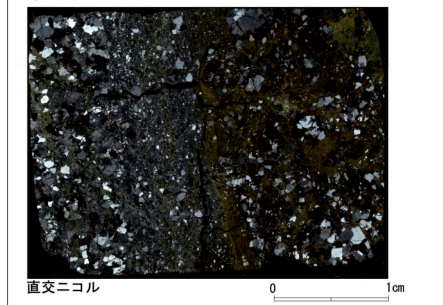
単ニコル



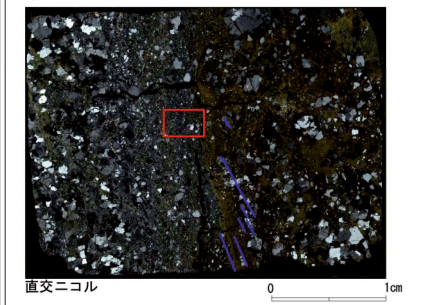
単ニコル



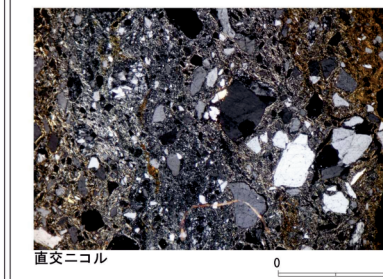
単ニコル



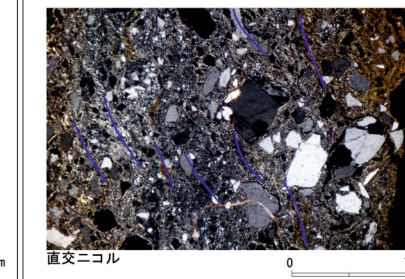
直交ニコル



直交ニコル



直交ニコル



直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
  - カタクレーサイト
  - R1面
  - P面

# K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット底盤(変位センス, 薄片観察による断層岩区分(2/3))

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
  - 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
  - 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)

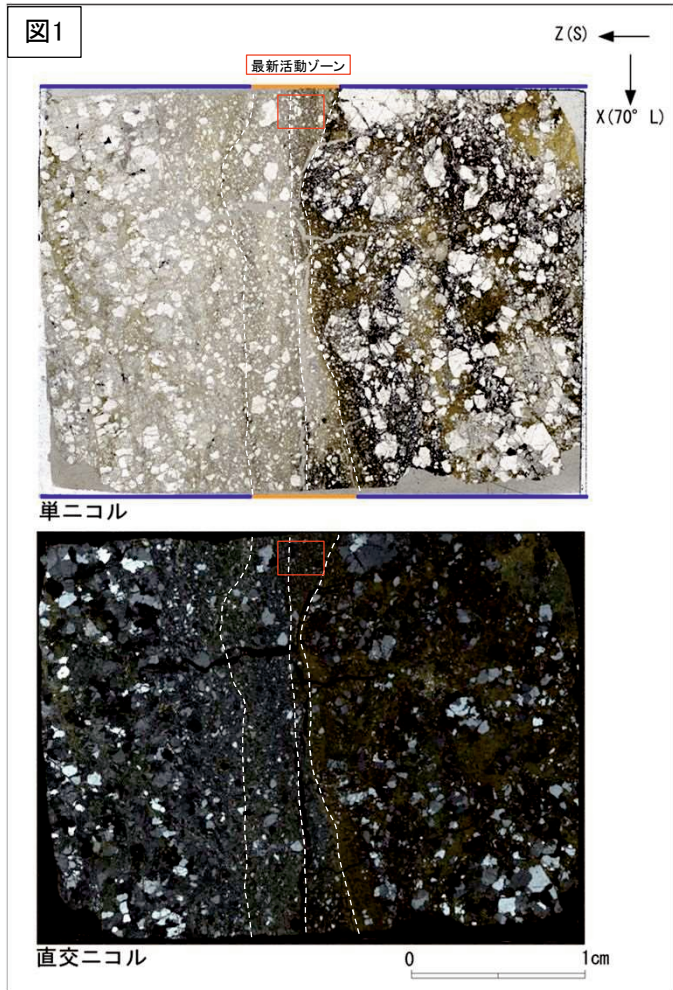
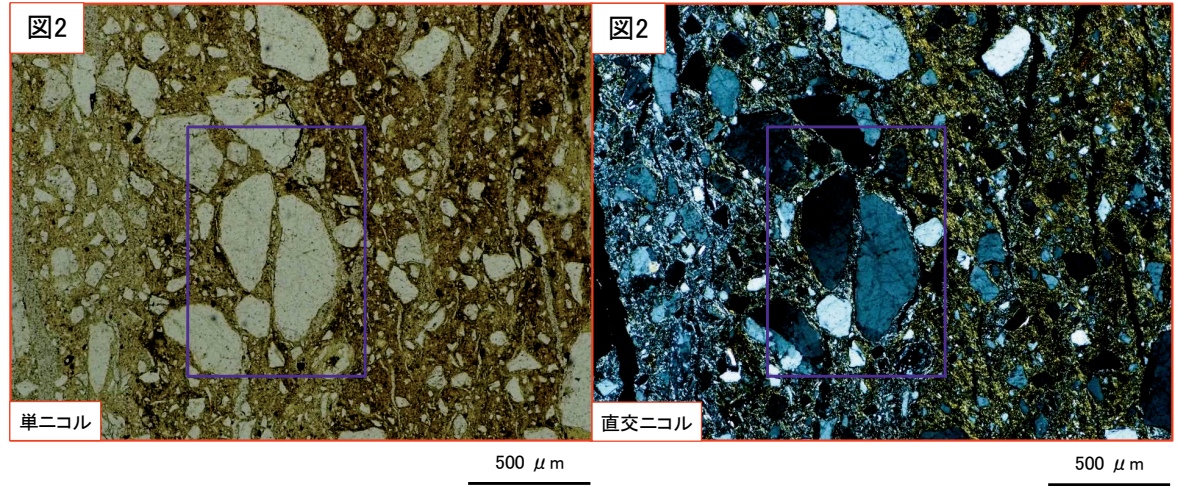


図1では、断層ガウジが異なる複数のゾーンに分帯されている様子が認められる  
破線は認定したゾーンの境界を示す

- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト



拡大

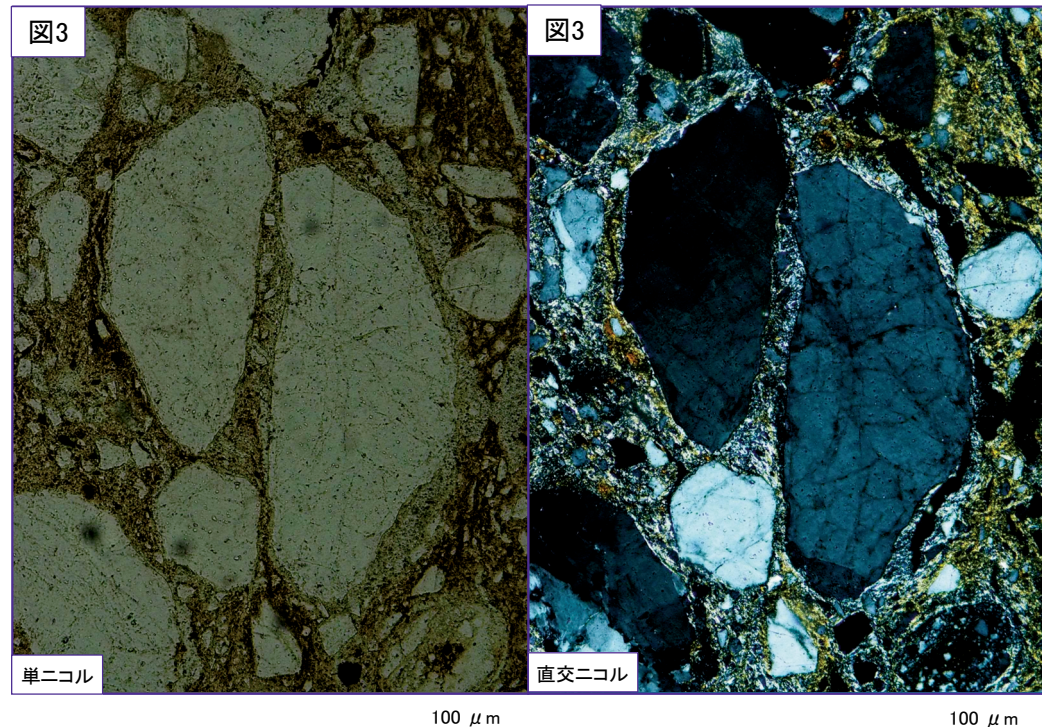


図3では、周囲に白色の断層ガウジを伴う岩片が、黄色の断層ガウジに取り込まれている様子も見られる